

▶第9回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 情報技術科 1年 金子 誠さんが、株式会社YSK e-com 代表取締役社長 飯室元邦 氏 を取材しました。



学生

山梨県立産業技術短期大学校
情報技術科

1年 金子 誠 さん

▶学生

御社の概要について教えてください。

▶経営者

1986年12月、山梨県の情報化推進と雇用の場の創出を目的に設立しました。今では社員も200人程になり、おかげさまで業績も毎年増収増益となっています。

設立当時は、ハードが主流でソフトはあまり扱われていませんでしたが、これからはICT (Information and Communication Technology「情報通信技術」) が伸びていくという見通しでテレビ山梨やNECなどが主な株主となり会社を作りました。今はソフトが9割を占め、ハードも安くなりましたので、昔よりチャンスが増えたことを生かして会社を運営しています。公共関係から、製造分野、医療分野、ネットワーク分野に至るまで幅広く事業を展開しています。さらに東京の汐留にも支店を置いて、県外にもシェアを広げています。

▶学生

新入社員に期待する事とは？

▶経営者

まず元気で前向き、プラス志向な人に期待しています。学校で基本的な技術を学んで入社してきますので、新入社員に対してはあえて高いハードルを設けています。高い目標を設けることで、それを達成しようという強い気持ち

プラス志向で常にトライ、 感性を磨くべし

経営者

株式会社 YSK e-com
代表取締役社長

飯室 元邦 氏



を持ってほしい、そういった思いからです。

また、SEとして大切なのは、技術はもちろんのこと、お客様とより良い関係を築くコミュニケーション能力が必要不可欠です。コミュニケーション能力を身に付けるには、アルバイトや多くの文化に触れるなど、様々な経験を通して感性を磨くことが一番だと思います。

▶学生

御社の経営方針とは？

▶経営者

県内にとどまらず、全国、ひいては世界でも通用しなければなりません。現在は中国など海外との取引も行っていますが、外の広い世界で通用するためにも、しっかりと人材を育成していく事が会社の発展に繋がると考えています。200人いる社員全員が今よりも10%多いパワーを出せば20人多いことと同じです。そういう形を目指しています。

取材を終えて…

今回は経営者の方へインタビューする貴重な機会を得ることが出来ました。インタビューをしていく中で、学生時代に感性を磨いておく事により将来できる仕事の質が変わると教えていただきました。今まで通り生活しては知ることのできないお話だったので、学生時代に出来るだけ多くの事に挑戦して、感性を磨いていきたいと思います。貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

▶学生

今後ソフトウェア産業はどのように進化していくのか？

▶経営者

私達の業界は日進月歩と言うより分進秒歩。1分1秒で世の中が変わっていくので、そこについていけないと負けてしまいます。たとえばスマートフォン、Suica、ETC、iPad、など様々なアイテムが登場しています。今はほとんどがアナログからデジタルに代わって、ICT化が進んでいます。まだまだ発展していく業界なので、やはりICTを強化していく会社は間違いなく伸びていきます。そこには様々なビジネスチャンスが生まれます。

